（別紙4-1）

NPO法人　福祉サービス評価機構Kネット

# 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業所番号 | 0170502462 | | |
| 法人名 | メディカル・ケア・サービス北海道株式会社 | | |
| 事業所名 | 愛の家グループホーム札幌福住 | | |
| 所在地 | 札幌市豊平区福住3条8丁目16番1号 | | |
| 自己評価作成日 | 令和8年2月17日 | 評価結果市町村受理日 | |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

| | |
|---|---|
| 基本情報リンク先URL | https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/houkoku/01/index.php |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ご入居者と職員が居心地が良いと思える雰囲気作り。
認知症高齢者のペースに合わせて生活活動に寄り添い、
スタッフは割愛の意味を周知し遂行出来なかった業務を割愛し、
次のシフトにつなぎ、ホームのご入居者様とスタッフが
ゆったりと過ごす事ができる雰囲気作りに力を入れている。

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|---|---|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人　福祉サービス評価機構Kネット |
| 所在地 | 札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4　高砂サニーハイツ401 |
| 訪問調査日 | 令和8年3月27日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

「愛の家グループホーム札幌福住」は、札幌市郊外の閑静な住宅地に位置し、周辺には公園や保育園、高齢者向け施設、コンビニエンスストアがあり、地域とのつながりを持ちやすい環境にある。広い敷地に建つ3階建ての建物は各階が1ユニットとなっており、廊下の突き当りには半円形の窓とベンチが設置され、利用者が自由に寛げる空間が確保されている。
協力医との連携も良好で、定期的な往診や迅速な情報共有により、日常の健康管理から看取り期まで安心して任せられる体制が整っている。医師の丁寧な対応は職員の業務の安心感にもつながり、利用者・家族にとっても大きな支えとなっている。
地域交流にも積極的で、近隣保育園の卒園式に向けて利用者とともにお祝いの飾りを作成し届けるなど、地域行事への協力を通じて関係を深めている。また、手作りおせちやラーメンイベント、定山渓ホテルでのランチと足湯など、多様な外出機会を設け、食の楽しみや生活の豊かさを大切にしている。民生委員との連携も良好で、畑や花壇の草刈りや水やりを利用者と一緒に行うほか、ボランティアの紹介で定期的な踊り・オカリナ演奏の実施など、地域住民との交流を深める取り組みが継続的に行われている。日常の支援から看取り期まで安心して任せられる体制が整っており、利用者・家族にとって信頼できる事業所である。

## Ⅴ．サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）　※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる（参考項目：23,24,25） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている（参考項目：9,10,19） | ○ | 1. ほぼ全ての家族と |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいの | | | | 2. 家族の2/3くらいと |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいの | | | | 3. 家族の1/3くらいと |
| | | | 4. ほとんど掴んでいない | | | | 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある（参考項目：18,38） | ○ | 1. 毎日ある | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている（参考項目：2,20） | ○ | 1. ほぼ毎日のように |
| | | | 2. 数日に1回程度ある | | | | 2. 数日に1回程度 |
| | | | 3. たまにある | | | | 3. たまに |
| | | | 4. ほとんどない | | | | 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている（参考項目：38） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている（参考項目：4） | ○ | 1. 大いに増えている |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | 2. 少しずつ増えている |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. あまり増えていない |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. 全くいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている（参考項目：36,37） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が | 66 | 職員は、活き活きと働けている（参考項目：11,12） | ○ | 1. ほぼ全ての職員が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | 2. 職員の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. 職員の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている（参考項目：49） | | 1. ほぼ全ての利用者が | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている（参考項目：30,31） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | 2. 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | 3. 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている（参考項目：28） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が | | | | |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが | | | | |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが | | | | |
| | | | 4. ほとんどいない | | | | |

（別紙4−1）

NPO法人　福祉サービス評価機構 Kネット

# 自己評価及び外部評価結果

| 自己評価 | 外部評価 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| **Ⅰ.理念に基づく運営** | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践<br><br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | あいさつから始まり、地域の人々とのふれあい、協力は大切にできていると思います。朝礼で唱和しています。 | 3ユニット合同で朝礼を行い、法人理念および事業所独自の目標を唱和している。理念と目標は事務所内に掲示し、職員が日常的に確認できる体制を整えている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい<br><br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域の方々が企画したイベントには積極的に受け入れ交流を行っているが、当ホームから企画開催はほとんどできていないと思う。 | 当事業所は町内会に加入し、地域との連携を図っている。夏祭りには地域の保育園児が訪問し、お神輿担ぎの参加があるほか、踊りのボランティア団体が定期的に来訪している。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献<br><br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 認知症の人の理解や支援の方法を地域の人々に向けて活かす活動を現在行っていない | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み<br><br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議での情報をもとにレクを増やしたり運営に活かしています | 運営推進会議には民生委員、地域包括支援センター、家族が参加し、多職種・地域住民との協働体制のもとで開催している。会議では入居者の状況や行事の様子を報告している。 | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携<br><br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 手続きの不明点の確認や問い合わせ等で札幌市地区担当者と連絡を密に取らせて頂いている | スマート申請等を活用して定例報告を行っている。相談事がある際は市の担当者へメールや電話で随時相談し、生活保護担当者とも密に連携を図っている。また、市の担当者および地域包括支援センターからは情報提供や研修案内を受けている。 | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践<br><br>代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | ご本人様の意思を尊重し、声掛けで止めるのではなく、どうしたいかを聞くように心がけています | 「虐待・不適切なケア」チェックシートを3か月に1回記入し、委員会において内容を検討している。チェック結果をもとに支援の振り返りや課題の共有を行い、不適切なケアにつながらないよう支援方法の見直しや改善に取り組んでいる。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底<br><br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | スタッフ同士でも定期的に話し合う機会を設けており、特にスピーチロックになってしまわないように、業務量を調整、分散しています | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 月一回のユニット会議にて行っているスタッフが全員揃ってで学ぶ機会が持てていません | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約書にかかる全ての場面で管理者が丁寧な説明と書面を用いて理解を頂きながら行っている | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 意見箱を入口に用意しており外部の意見を聞けるようにしている | 入口に意見箱を設置し、来訪者や地域住民からの声も受け取れる体制を整えている。さらに、議事録や「ふくずみ通信」、職員が直筆のメッセージと写真を添えた個別のお便りにより事業所の活動内容を丁寧に発信し、家族が意見を伝えやすい環境を整備している。 | 行事等で家族参加を積極的に呼びかけ、家族からの意見や要望を聞き取り、運営に反映していく取り組みが期待される。 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | ユニット会議、全体会議を行い比較的どのスタッフも意見を伝えやすい環境を聖えている | 全体会議を通じて職員の意見を把握し、改善につながる内容は運営に反映している。個別面談は実施していないものの、日常的なコミュニケーションの中で職員の声を拾い上げられるよう配慮し、意見が伝えやすい環境づくりに努めている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 時間内に仕事が終えれるようにスタッフ同士協力ができている | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 得意、不得意あるので得意なことをのばせれるように業務を分けれている | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | あまり、他のグループホーム（同じグループ）との交流をする機会が人員不足によりできていない | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係<br><br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居者様の基本情報（認知症介護研究研修東京センター）を使用してご本人とご家族の利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係<br><br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 入居者様の基本情報（認知症介護研究研修東京センター）を使用してご本人とご家族の利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援<br><br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 入居者様の基本情報（認知症介護研究研修東京センター）を使用してご本人とご家族の利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 入居者様の前に1人の人として、接することができていると思います | | |
| 19 | | ○本人を共に支え合う家族との関係<br><br>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 入居者様の前に1人の人として、接することができていると思います | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br><br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご友人と手紙のみのやりとり<br>の方もスタッフが一緒になって交流できる様に支援できています | 面会制限を設けず、居室で家族や友人とゆっくり過ごせる環境を確保している。家族への年賀状作成や友人との手紙のやり取りを継続できるよう支援している。また、家族の協力を得ながら、温泉への外出や馴染みの美容室の利用など、これまでの生活に根ざした関係や活動を続けられるよう支援している。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援<br><br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 互いの相性なども相談しながら孤立しないように努めている、3ユニットあるため屋内の散歩時やボランティア余興の際に交流があり、自身のユニット以外の方との交流も深まっている | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み<br><br>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退去後にも、ご家族が連絡くださることもある | | |
| **Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント** | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握<br><br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 入居者様の基本情報（認知症介護研究研修東京センター）を使用してご本人とご家族の利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居時に聞き取りを行い、アセスメントシートを作成している。心身の状態や生活状況に特変が生じた際には、適宜再評価を行い、支援内容の見直しにつなげている。また、利用者の個別の希望（例：水泳をしたい、ステーキを食べたい、図書館に行きたい等）を丁寧に聞き取り、可能な範囲で実現することで、生活の質向上を図っている | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居者様の基本情報（認知症介護研究研修東京センター）を使用してご本人とご家族の利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握<br><br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | ユニット会議で本人様のアセスメントをしっかりととり話しあい毎月実施評価更新しています | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br><br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ユニット会議で本人様のアセスメントをしっかりととり話しあっています | 担当職員が素案を作成したうえで、ユニット会議にてアセスメント内容を共有しながらチームで検討している。計画作成担当者が最終的に内容を整理し、本人・家族・関係職種の意見を反映した介護計画としてまとめている。状態変化があった場合は随時見直しを行っている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映<br><br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 人員不足もあり、しっかりと記録として残せていない事もある | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br><br>本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 積極的にご家族講とも連絡をとりお互いにすみ関係が築けています | | |
| 29 | | ○地域資源との協働<br><br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | あまり意識して生活できていないように感じます | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 | | 協力医による月2回の往診と24時間の夜間オンコール体制 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| | | 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ご本人様の終末期を含めた希望を大切にし医療機関との相談を行えている | を整えている。訪問看護は週1回、歯科訪問診療は週1回実施している。整形外科などの専門医受診は基本的に家族が対応するが、状況に応じて職員が対応する場合もある。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 看護師を配置していませんが、訪問看護ステーションと連携して支援している | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | ご本人様のADLやホームで暮らされていた情報をどのスタッフも伝えれるよう共有できています | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 1番はご本人様の希望に<br>近づけれるよう今後のリスクや<br>想定される事を話しあえています | 重度化や終末期について本人・家族へ説明し、同意書を得ている。状態の変化があった際には、医師の説明と同意手続きを再度行い、家族の意向を確認しながら、関係機関と連携して適切な支援を提供している。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 単独外出事故等、予期せぬ事態の対応等をしっかり準備できていない。改めて備えていきたい | | |
| 35 | 13 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 非難訓練を定期的内に行い。<br>連絡物もしっかりと把握できています | 夜間火災と、日中の地震発生後に火災へ至る想定の避難訓練を実施している。また、備蓄品の見直しを行い、非常食・飲料水・防災資機材などの数量や使用期限を点検し、災害時に必要な物資の補充を実施している。 | |
| **Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援** | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | トイレや、パット交換を居室で行う時、入浴時等本人様が恥じるのないよう努めています | 排泄介助時はドアを閉め、必要に応じてカーテンを使用するなど、プライバシーに配慮した支援を行っている。呼称は「さん付け」で統一し、タブレット記録や申し送りでは個人情報の取り扱いに注意しながら手差し確認を行い、本人の尊厳を守る関わりを徹底している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | ホームや業務の都合での生活の変更は行っていない | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入居者様の気持ちを開きだせるよう声かけも努めれています | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 | | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| | / | その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 身に付けるものはご自身で選んでいる。整容も気を付け不足なところが支援している | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援<br><br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 食欲、好みをリサーチし、<br>個人に合わせれている | 1階に調理専門職員を配置し、3ユニット分の食事を調理している。盛り付けは各階で利用者と一緒に行い、食事づくりの楽しみを共有している。とろみ・きざみなど個別の食形態に対応し、安全に食事を楽しめる環境を整えている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援<br><br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 好き嫌いをどのようにしたら<br>召し上がってくれるか等スタッフ同士でチャレンジし共有できてる | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持<br><br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | ご自身で行って頂き仕上げ磨き等お手伝いさせて頂いている | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援<br><br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 個人の習慣を活かせれるようスタッフそれぞれアセスメントし共有しています | 排泄は可能な限りトイレで行えるよう、個々の排泄パターンや習慣をスタッフがアセスメントし共有している。必要に応じて見守りから一部介助まで柔軟に対応し、自立につながる支援を行っている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応<br><br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 現在、オリゴ糖を提供しスムーズに排泄が促せるか検証している | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援<br><br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 日中の入浴も1番風呂が好きな方や着替えが億劫な方、それぞれに合わせた声かけをしています | 入浴は週2～3回を基本とし、1番風呂を好む方、着替えが億劫な方など、一人ひとりの希望に合わせて声かけを行っている。都度お湯を入れ替え、清潔で快適な環境を整えている。湯船につかる方が多いが、つかれない方には2名介助で安全に対応している。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援<br><br>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 夜間、良質な睡眠がとれるように日中とのバランスを意識しています | | |
| 47 | | ○服薬支援<br><br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬情を読み、内容効果<br>副作用のリスクを理解しています | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | ご本人様が得意だった事を活かせれるケアプランを提案できている | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項　目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援<br><br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 近所のお散歩は本人様が希望すれば行えている また。遠出外出も春夏秋冬、それぞれ1回は行えるよう努めています | 日常的に散歩へ出かけ、近所の方々とあいさつを交わすなど、地域との自然な交流を大切にしている。また、化粧品の買い替え希望がある際にはドラックストアーへ出向くなど、本人の希望に合わせた外出支援を行っている。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援<br><br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご自身で持っておくことに不安に思う方には丁寧に説明させて安心頂いている | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援<br><br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ハガキ、手紙が届くと返信したり個人通信で一緒に手紙を書いて頂いてます | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり<br><br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節ごとの壁飾りも、月担当を中心に協力して行えています | 開放感のある食堂や居間に加え、廊下の突き当りにはベンチを設置し、利用者が好きな場所でゆっくり過ごせる環境を整えている。共用スペースには、月ごとの担当者を中心にユニットごとで工夫した作品が飾られ、家庭的で温かみのある雰囲気がつくられている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br><br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 食席は相性なども配慮しながら決めているが、好きなときに好きな場所でを同意したり、ソファーで1人くつろげるスペースもある | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br><br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室には、家族様との写真や人形、記念事を飾らせて頂きスタッフが訪室した際にはお話もさせて頂いている | 各居室にエアコンが設置している。タンス、ベッド、椅子、テーブル、冷蔵庫、テレビ、パソコン、携帯電話など、本人が使い慣れた生活用品や家族写真・人形・記念品など馴染みのある物を飾り、本人が落ち着いて過ごせるよう工夫している。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br><br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 体力があるは掃除お手伝い<br>字を書く事が好きな方に壁の掲示物お手伝いをして頂いている。快よく参加できています。得意な事等、スタッフが間に入って交流ができるよう支援しています | | |